

# 学校改革!教職員の時間創造プロジェクト

ニューズレター ～働きやすい環境づくりのために～

2026年3月 Vo.2

## ☆「働き方改革に向けたアンケート」実施しました☆

「教職員の働き方改革に向けたアンケート」を、2月6日(金)から20日(金)の期間で実施しました。対象者4,237人中3,401人(80.3%)の教職員の皆様に回答していただきました。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

昨年度のアンケートは、令和8年度から実施の「第3期 学校改革!教職員の時間創造プログラム」策定に活用させていただきました。(プログラムの詳細は後日お知らせいたします)

今回のアンケート結果も、プログラムの取組に反映させるなど、今後の働き方改革に活用していきます。

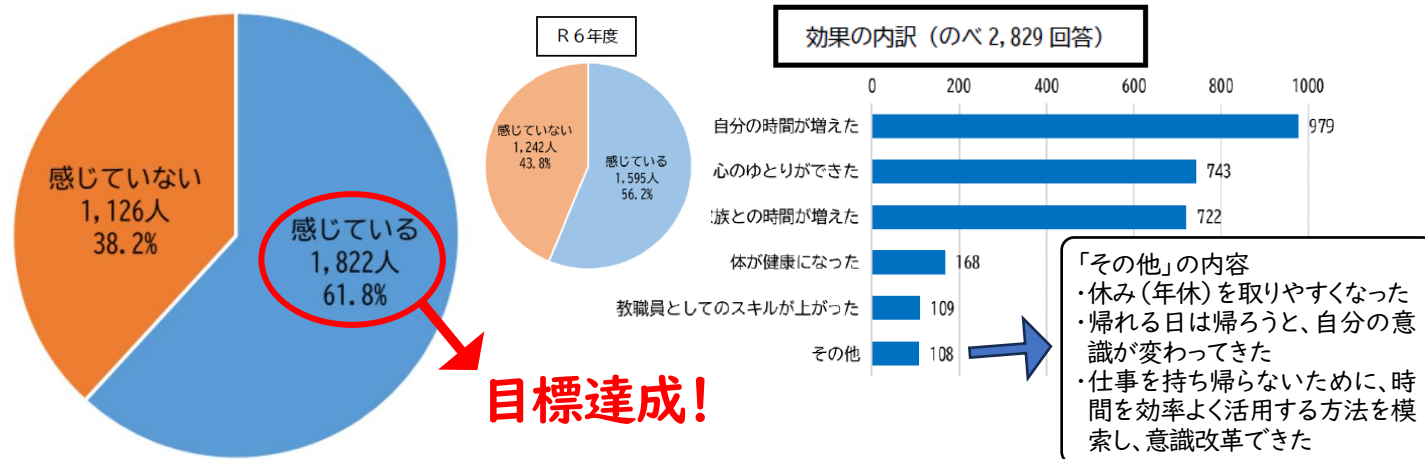
## アンケート速報 (最終的には5月に公表予定です)

「第2期 学校改革!教職員の時間創造プログラム」における

目標4「心のゆとりや自分の時間が増えた等と感じた教職員の割合60%以上」について

[8] これまでの働き方改革の取組を通して、どのような効果を感じていますか。(複数回答可)

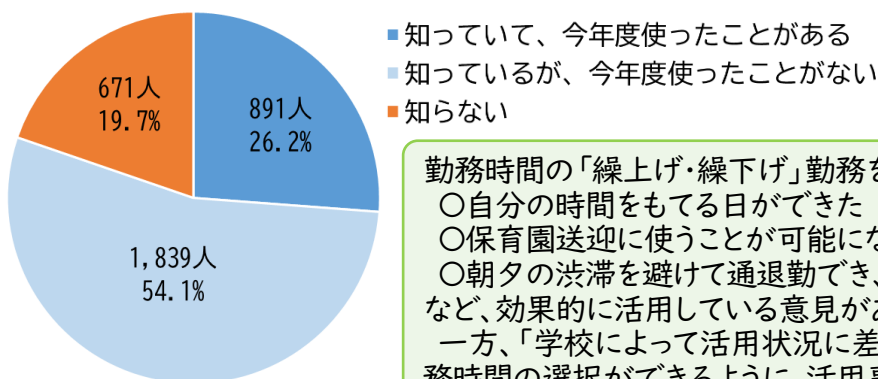
※回答者3,401人中「経験年数が短いためわからない」と回答した453人を除く2,948人



これまでの働き方改革の取組により、調査依頼初めて60%を超えました。しかし、「忙しさは変わらない」「実感がない」など、効果を感じていない教職員もいます。文科省が示した3分類をもとに学校および教師の業務見直しをさらに進めていき、教職員が心身の健康を保ち、ゆとりをもって業務にあたるようにしていきます。

## 今回、初めて調査した項目について

[12] 勤務時間の繰上げ・繰下げ制度があることを知っていますか。

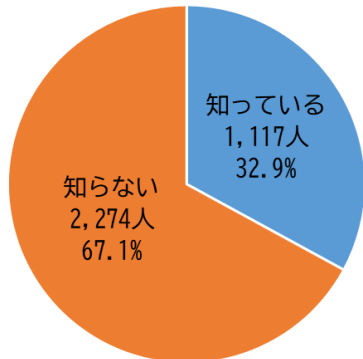


## 今回、初めて調査した項目について

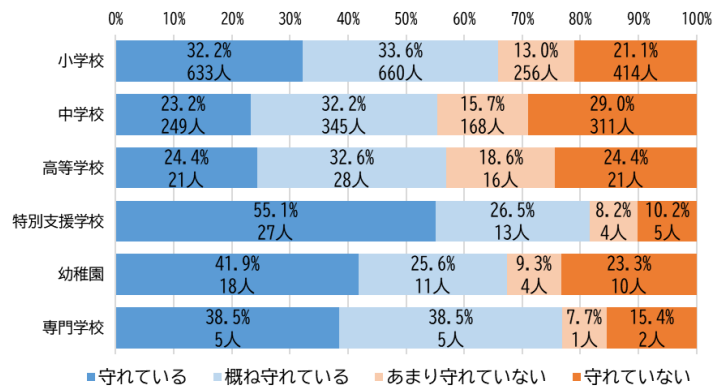
[13] 勤務間インターバル制度を知っていますか。

※勤務間インターバル制度とは、終業時刻から次の始業時刻の間に一定時間（11時間）以上の休息時間（インターバル時間）を設けることで、生活時間や睡眠時間を確保し、職員の健康の確保やワークライフバランスの保持に繋げるものです。

【問1】勤務間インターバル制度をしっているか



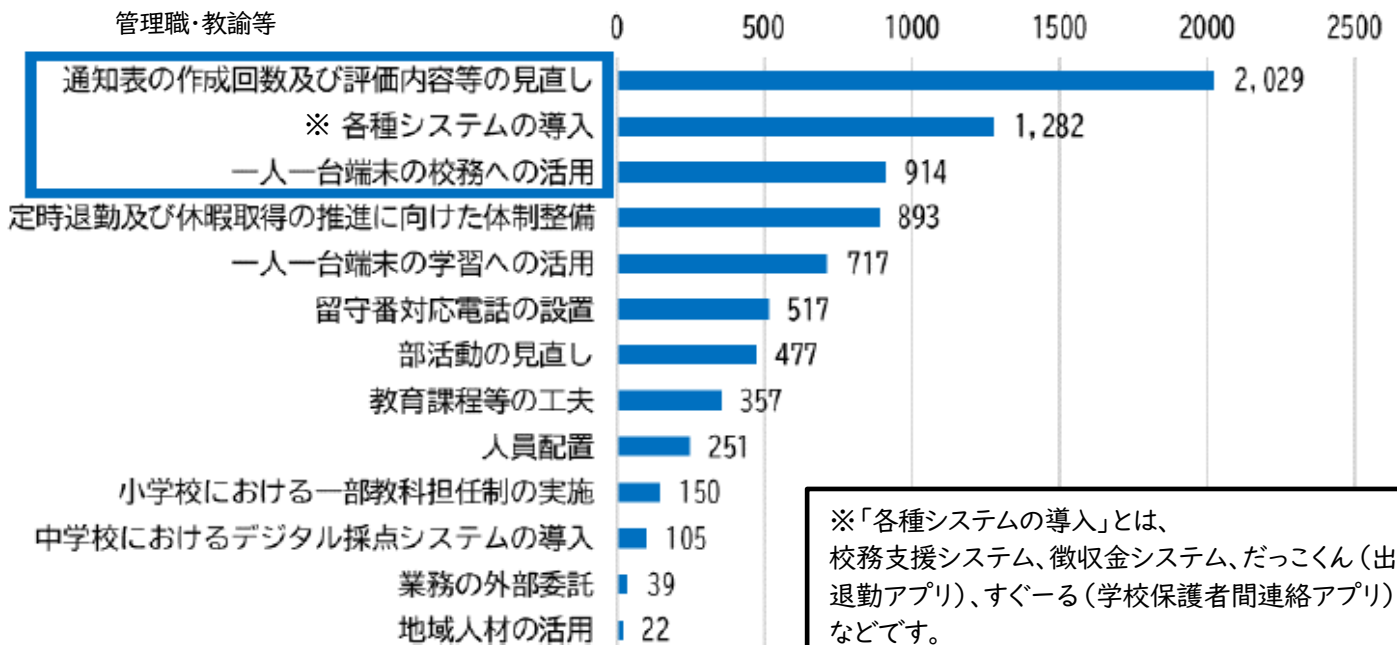
【問2】勤務間インターバル制度を守れているか。



文科省が2025年1月に公表した「教師の働きやすさ・働きがい実現プラン」に、学校における働き方改革の施策の一つとして勤務間インターバルの導入促進が盛り込まれました。しかし、学校現場においてははまだ認知度は高くないようで、今回のアンケートで知った人も多かったようです。

## 「これまでの働き方改革の効果」について

[9] これまでの働き方改革の取組について、特に効果的であったと感じるものを選んでください。（3つを上限とし複数回答可）



最も効果的だという意見は、「通知表」に関してでした。

○通知表が年3回から2回になったことで、時間に余裕ができた

○1学期と2学期の学期末に、通知表作業がなくなり、授業の準備が落ち着いてできるようになったなどの意見が多かったです。

しかし、「もっと働き方改革を進めて欲しい」という意見もあるため、今回のアンケートで寄せられた意見を参考に教職員の働き方改革を進め、子どもたちへのより良い教育の実現を目指していきます。

